



ミツバチとともに

のうか
農家になろう2

おおにしのおお

大西暢夫写真

のうさんぎょそんぶん か きょうかい

農山漁村文化協会

角田さん夫妻は、赤城山の麓でミツバチを飼っている。
とろりとした金色のハチミツを採るためだ。六十ほどある
巣箱の一つ一つに、女王蜂と約二万匹の働き蜂がいて、巣
板と呼ばれる板に巣を作り、野山で集めた花の蜜を貯えて
いく。角田さんは、うおんうおんという羽音に耳を澄まし
て働きぶりを確かめ、巣穴が蜜で
満たされたら、巣板をしぼるのだ。
四月はサクラやナタネ、五月末か
らはアカシア。季節の花とミツバチ
に寄り添って暮らす養蜂家の一年を、
美しい写真でいねいに描いた本。

